はじめに

南砺市教育長　松本謙一です。

今年度より「南砺利賀みらい留学・長期コース」が、県内外、また海外からも含めた第１期生１１名をお迎えして開始する運びとなり、大変嬉しく思っています。

南砺市は、平成１６年に旧８町村の市町村合併により誕生した現在人口約５万人の市です。中でも、留学生を迎える利賀地域は人口５００人弱の山々に囲まれた自然豊かな里山のイメージが色濃く残る山村地域です。

この地域は、友好都市の東京都武蔵野市とのセカンドスクール事業など、文化、教育を始め、多方面に亘り他地域との交流を続けており、地域住民の方々は、非常に友好的で、人を迎え入れる気持ちが自然と備わっているように感じています。

昨今の新型コロナウイルスの感染症の感染拡大が、未だ私たちの生活に影響を及ぼしており、子ども達の生活も例外ではありません。そのような中でも、山村での暮らしはコロナ禍にあまり左右されず、子どもたちにとって比較的恵まれた環境でゆとりある生活を送ることができることと思います。子どもたちには当たり前の生活のありがたさを実感し、利賀在住の子どもたちと一緒に、この雄大な自然の中でのびのびと生活してほしいと願うとともに、地域の子として優しくたくましく育ってくれることを願っています。

留学生１１人を迎え、これからも、南砺市民と育てる会、行政が手を取り合って、先人が長い時間をかけて育んできた文化や自然、交流の絆を守り、子どもたちにつないでいくことが重要な責務であると考えています。そして子どもたちと一緒に一層素晴らしいふるさとをつくっていきたいと思っています。

ご協力を賜りました、公益財団法人育てる会をはじめとする関係各位に重ねてお礼を申し上げるとともに、これから１年間大変お世話になりますが、子どもたち、保護者の皆様、そして地域の皆様にとって魅力的な事業となりますよう、よろしくお願いいたします。

＜４月の活動カレンダー＞

６日（火）	入園のつどい
１０日（土）	村めぐり
１１日（日）	山菜散歩
１７日（土）	相倉散策・足型取り
１８日（日）	大掃除
２０日（火）	田おこし
２４日（土）	畑おこし
	受け入れ家庭対面式（ホームステイ開始）

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp
WEB：http://www.nanto-toga.com/

４／６　入園のつどい

南砺利賀みらい留学の１期生が、ネコヤナギの枝を持ち、留学センターこと旧坂上小学校の体育館に入場しました。ネコヤナギには「来年の春、この花がまた咲くときまで、みんなで力を合わせて頑張っていこう」という思いが込められています。留学生は「スキーを頑張りたい」「地域の方と仲良くなりたい」などこれからの目標を発表し、留学生活で大切にする「留学生の心がまえ」を読み上げました。保護者のほか、南砺市長をはじめ市議会や教育委員会の方、１年間留学生を支えてくださる地域の方が留学生を見守り、「１期生のみなさん入園おめでとう」とお祝いの言葉をくださいました。

４／10　村めぐり

初めての週末活動。自分たちが住む利賀村について知るために、２つのグループに分かれて、センター周辺の地域を散策しました。「山菜を２種類発見する」「地域の方から方言を学ぶ」「橋や神社の名前を教えてもらう」のようなお題が書かれたビンゴと周辺地域の地図を持ち、橋やお宮、大杉などを実際に見に行ったり、地域の方に答えを教えてもらったりしました。「利賀のおいしいものは、そば、岩魚、山菜、豆腐だって！」「近道を見つけたよ！」などと、たくさんの発見がありました。

午後からは、歩きでは行けない利賀川の上流や百瀬川の周辺に車で向かい、きれいな川の水に触れてみたり、まだまだ残る雪で遊んだりして、利賀村の自然を堪能しました。

４／11　山菜散歩

地域の方を講師に招き、山菜を探して、坂上地区を歩き回りました。この日も２つの班に分かれ、利賀川沿いと山側の地域をそれぞれ散策。この日採れた山菜は、アサツキ・アザミ・カタクリ・フキノトウ・シャク・ヨモギでした。山側には雪が残り、そちらの班はあまり山菜を採れませんでしたが、鴻の貴水と呼ばれる水源地で木の根元から湧き出る水に笹船を流したり、湧き水を飲んで「おいしい」と歓声を上げたり。森が蓄えた水に触れて、改めて村の大自然を感じたようでした。

午後には、採ってきた山菜をみんなで調理しました。できた天ぷらやおひたしはおやつにいただきました。「おいしい！」「苦くて苦手かも…」と感想は様々でしたが、さわやかな春の苦みを味わうことができました。講師の方にいただいた「味付けをもっと薄くして素材の味を楽しんでほしい」とのアドバイスは次回の反省に…。

４／１７　相倉散策・足型取り

世界遺産「相倉合掌造り集落」の見学に行きました。茅葺きの屋根を特徴とする合掌造りの建物や、約 300 年前から使用されていた道具などを見て、昔の人々の暮らしを学びました。留学生は、五箇山地方で有名なこきりこ節で使われる「ささら」という楽器を手に取り、「こうやって鳴らすんだよ」と嬉しそうに聞かせ合っていました。

また、この日は入浴前に、一年間の成長を記録として残すための足型を取りました。足を紙に乗せるときは、みんなドキドキの表情。これから山登りや農作業などの活動、遊びを通してたくさん足を使います。１年後、変化した足型から、留学生の成長が感じられることでしょう。

４／１８　大掃除

毎日夕食後に行っている掃除のやり方を見直し、体育館の大掃除もしました。まずは、普段の掃除を振り返りながら、道具の使い方や掃除の仕方などを確認しました。続いて「トイレの窓枠を掃除したほうがいい」「交流室掃除を無くして、他のところをやろう」といった留学生の意見から、掃除のやり方を改めて決めていきました。

その後、体育館掃除を行いました。枠や床、壁すべての箇所のごみを取り、汚れを拭きとっていきます。大変な作業でしたが、雑巾がけレースをするなどして、楽しみながら体育館をピカピカにしました。

４／２０　田起こし

山村留学では、先人の知恵や苦労、食の大切さなどを学ぶために農業体験を大切にしており、多くの工程を手作業で行います。その始まりとなる田起こしの活動をしました。

１７日に予定していた田おこしでしたが、雨天のため断念。この日（２０日の放課後）に行うこととなりました。センター横の６畝の田んぼに行き、まずは小学生が半分、中学生が帰ってくるともう半分を、鍬を使って耕しました。小学生は大きな鍬の扱いにてこずっていましたが、体をいっぱいに使って鍬を振り、１時間半ほどで耕し終わりました。中学生は、力強く黙々と進めていきます。「筋肉痛になる！」などと農作業の大変さを体感しながら、こちらも１時間半ほどで作業を終えました。

運営スタッフ・指導員の紹介

〈 NPO 法人　利賀山川まもる 〉

須河（すがわ）　紗也子（さやこ）

長岡（ながおか）　悟（さとる）

〈 公益財団法人　育てる会 〉

山本（やまもと）　光則（みつのり）

邑上（むらかみ）　貴厚（たかひろ）

松浦（まつうら）　実穂（みほ）

山本（やまもと）　将寛（まさひろ）